

政策評価トピックス 第 60 号(2005 年 10 月 15 日)

・総務省：政策評価結果の予算要求等への反映状況

総務省は、このほど、各行政機関における政策評価結果の 18 年度予算要求等への反映状況を取りまとめ、公表しました。政策評価の結果 1,393 件のうち、その結果を 18 年度予算に反映した件数は 1,314 件（94.3%）になり、16 年度予算要求（87.5%）及び 17 年度予算要求（91.5%）に比べて上昇したとしています。

このうち、事後評価では、事後評価結果の予算要求への反映件数は、評価単位の大括り化などによって 17 年度の 1,063 件から 18 年度は 854 件に減少していること、854 件のうち評価対象政策の改善・見直し、廃止等に反映したものは 382 件（44.7%）であったこと、一方、事前評価では、評価の実施が義務付けられている個別公共事業、研究開発課題及び個別政府開発援助の 186 件のほか、実施が義務付けられていない分野の新規施策・事業についても 274 件が自主的に実施され、評価結果が予算要求に反映されたとしています。また、機構・定員要求に反映した件数は 207 件であったとしています。

http://www.soumu.go.jp/s-news/2005/050930_7.html

・岩手県：政策評価の 17 年度予算への反映状況

岩手県では、総合計画の「主な指標」の達成状況を取りまとめています（本誌 58 号）が、この結果を受けて、達成状況が厳しいとされた「産業経済社会」について、重点的に配分したとし、農林水産業関係では、集落型経営体など農林水産業の担い手の育成、農林水産物のブランド強化、海外販路の拡大が該当し、また、「主要な指標」の達成状況が遅れており、県民のニーズが高い分野（地球温暖化防止に向けた推進計画の策定、県境に不法投棄された産業廃棄物の除去による現場の環境再生など）については、取組みを更に充実強化したとしています。

<http://www.pref.iwate.jp/%7Ehp0212/seisaku/hanei/shanei.htm>

・福井県：17 年度県庁内ベンチャー事業研究成果

福井県では、県庁内ベンチャー事業を実施しており、17 年度は、7 つのテーマが取り上げられました（本誌 56 号）が、これらの研究成果のプレゼンテーションが 9 月 13 日、知事をはじめとする幹部職員に対して行われました。

テーマの一つである「健康長寿のふくい野菜」については、農林水産部 7 名、総合政策部 2 名、健康福祉部 1 名の 10 名のメンバーで作る販路拡大研究グループでは、6 回の会合の成果を基に、1) 幻の逸品の発掘・開拓や福井ならではの味を提供する店をデータベース化（幻采ふくい野菜）、2) 特徴ある「ふくい野菜」を高級料亭や海外の高級スーパーへ供給し、これらをアンテナショップとして PR の拠点とする（翔んでいる采ふくい野菜）、3) 顧客満足度の向上や新商品開発等に向けた情報収集（インフォ采ふくい野菜）を提言しています。

<http://info.pref.fukui.jp/seiki/venture17.html>

・香川県：17 年度評価結果

香川県では、このほど、17 年度行政評価結果を公表しました。県新世紀基本構想の「施策体系」を活用した施策評価結果では、中項目施策「農林業の振興」の平均進捗度は 3.33（最高 4.00、最低 1.00）となり、31 中項目施策の中で 11 番目の進捗度となっています。また、県新世紀基本構想後期事業計画（2005

ー2010)に掲載されている215指標の努力目標数値の達成状況では、農林水産部の33指標のうち、Aが18、Bが7、Cが0、Dが6、ーが2、となっています。達成状況がA評価されたのは、認定農業者数、農業生産法人数、地産地消推進員数、鶏卵生産量などで、逆にDと評価されたのは、エコ農産物栽培面積、トレーサビリティ対応の青果物産地数の割合などです。

<http://www.pref.kagawa.jp/seisaku/hyoka/>